

2024年度 由布院駅アートホール展覧会 [2024年4月1日 - 2025年3月31日]

4



4/8 mon. - 5/7 tue.

小嶋勇 Isamu Kojima
福岡県 (絵画)
「EARTH - 大地の詩」

鳥の眼視点でとらえた地上の風景の一部を切り取り抽象的に表現。

5



5/8 wed. - 5/31 fri.

ゆふいんアート委員会
Yufuin Art Committee
大分県由布市 (絵画)
「1000人の絵画展」

応募資格不問! 多くの作品を募集し、アートホールを絵画でうめつけます。

6



6/1 sun. - 6/28 fri.

河野育代 Ikuyo Kono
大分県日出町 (絵画)
「蹄鉄」

蹄鉄台に向かう人や道具を描く。今、忘れ去られようとする手作業の応援歌。品。日々の問いを前にした迷いの軌跡でありたい。

7



6/29 sat. - 7/29 mon.

ホーノキアトリエ
Honoki atelier
大分県由布市 (インスタレーション)
「猫遊湯 ねこゆうゆ」

湯の中で戯れ狂喜乱舞するような猫作品。榎園歩希とホーノキアトリエに通う小学生から20代の約20名による展示。

8



7/30 tue. - 8/28 wed.

大分高等学校書道コース
Oita High School Calligraphy Course
大分県大分市 (書)
「墨春展 - ボクシュンテン」

大分県内の高校で「書道」が専門的に学べる唯一のコース。専門の教員が漢字、仮名、漢字仮名交じり、書道史、篆刻等を幅広く指導しています。今回は、書道コースの3年生7名と教員の松下航との展示。

9



8/29 thu. - 9/27 fri.

東智恵 Tomoe Higashi
大分県別府市 (絵画)
「雲煙模糊 UNEN MOKO MOKO」

深い深淵に絶望しつつも、小さな呪いのような思いから生み出された作品。日々の問いを前にした迷いの軌跡でありたい。

10

9/28 sat. - 10/9 wed.

YUNOHIRA ART SIGHT 共同企画
YUNOHIRA ART SIGHT joint project
大分県由布市

歴史ある温泉旅館街「湯平温泉」で展開するアートプロジェクトとの共同企画。

10/10 thu. - 10/31 thu.

ゆふいんアート委員会
Yufuin Art Committee
大分県由布市 (写真)
第1回 由布院駅アートホールフォトコンテスト
由布院駅アートホールフォトコンテストの第1弾。今回のテーマは、「(由布)を撮る」。日本国内だけでなく、全世界から募集し、アートホールで展示をします。

11



11/1 fri. - 11/29 fri.

新庄良博 Shinjo Yoshihiro
福岡県 (立体)
「新庄良博彫刻展」

木彫だけの表現ではなく、和紙や竹も使い、無意識の精神と自然の神秘から独創のカタチを創る。

12



11/30 sat. - 12/28 sat.

「院生ふたたび展」
大分県大分市 (絵画・立体)

永松芳恵、森貴也、松本ゆかり、kirinpicnic、寺江圭一朗による、異年齢の同期大学院生5人による作品展。

1



12/29 sun. - 1/29 wed.

梶原常実 Tunemi Kajiwara
大分県由布市 (写真)
「遠い町 - 北へ」

見知らぬ町を訪ね歩くと同時に、遠い昔の記憶へ向かって旅をする。東北・北海道を撮影した写真を中心に展示。

2

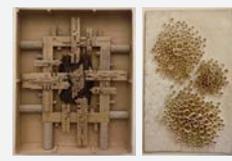


1/30 fri. - 2/28 fri.

ヴッター公園 Vutter kohen
藝術新社 漂泊 hyohaku
京都府京都市/大分県由布市 (写真・映像他)

1990年・磯崎新氏によって設計された由布院駅アートホールの歴史を紐解く企画展。由布院駅舎改築時の構想について当時の資料だけでなく、関係者へのインタビューなども行うプロジェクト型展覧会。

3



3/1 sat. - 3/31 mon.

秋月正徳・典子
Akizuki Masanori・Noriko
大分県大分市 (絵画・立体)
「何処へ〜二人の造形展〜」

秋月正徳は幾重にも重ねた段ボール、秋月典子は麻やワイヤー、古木や錆びた金属等を用いて、破壊と再生の相反するイメージを表現。

※公募によって9組の作家が選出されています。※写真は展示作品と異なる事があります。



由布院駅アートホールとは

1990年12月に待合室機能をもったアートギャラリーとして誕生しました。年に約12企画(絵画、写真、彫刻など)の展示をしています。地元大分出身の磯崎新氏の設計で、木材と天然石の質感や色調、自然光を取り込む天窓などにより、開放的で明るい空間となっています。

開館時間 9:00 - 18:00

休館日 なし

入館料 無料

■ 壁面への展示方法

◇ ピクチャーレール、
ワイヤー2.0m×10本・2.5m×50本
専用フック 60個、耐荷重量20kg

◇ 直接壁の展示(画鋸、虫ピン、タッカーのみ)

◇ 仮設パネル(壁面に掛けて使用) 釘など使用可
縦198cm×横120cm×厚9cm 15枚

■ その他の展示方法

床面・天井(軽いものに限る)
※椅子と机をホール内に必ず配置すること
配置換えは可能です(事務局まで要相談)

■ 展示用備品

画鋸、虫ピン、タッカー、工具、脚立など
展示台等はなし(必要な場合は企画者側で用意のこと)

■ その他

待合室として、ご利用のお客様への配慮
(作品の盗難・転倒防止等)を重ねてお願いします。